



# たんぽぽ

戸田市立喜沢小学校 令和8年1月8日

【学校教育目標】

「夢と希望をもち、  
よりよい社会づくりに向け  
行動する児童の育成」

1月号

新年明けましておめでとうございます

校長 加藤 貴嗣

保護者・地域の皆様におかれましては、健やかに令和8年の新春をお迎えのことと存じます。

今年、丙午の年です。「午」は、「力強く前に進むこと」、「仲間と息を合わせて走ること」の象徴とされています。また、「丙」は、「明るさ」、「表に表れる力」を表しています。そのため、丙午の年は、勢いがあり、新しいことに挑戦する力が高まる一方で、その力をどのように生かすかが大切になる年でもあると言われていています。

喜沢小学校では、3つの大切「自分から考えて行動しよう」、「自分もみんなも大切にしよう」、「あきらめないでやりきろう」を柱に教育活動に取り組んでいます。先日、ご協力いただきましたアンケートでも、「3つの大切を家庭でも意識している」とご回答いただいた割合が約9割、「3つの大切はお子さんに身に付いている」とご回答いただいた割合が約8割という結果でした。3つの大切の取組への保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

3つの大切を身につけることは、子供たちに「自らの人生を舵取りする力」や「民主的で持続可能な社会の創り手となる力」を育み、将来、一人一人が笑顔で幸せな人生を歩み、みんなが笑顔で暮らせる社会を創ることができるようになることにつながると考えています。

「自らの人生を舵取りする力」や「民主的で持続可能な社会の創り手となる力」の土台となるのが、「自分から考えて行動できる」「自分もみんなも大切にできる」「あきらめないでやりきることができる」という力と考えています。そして、「自分から考えて行動する」ためには考える力が大切であり、「自分もみんなも大切にできる」には、当事者意識をもって、自分の意見を形成し、対話と合意ができる力が大切です。「あきらめないでやりきる」ためには、やってみようという興味・関心や自分はできるという気持ちをもてるのが大切です。

そこで、子供たちの「考える力」や「自分の意見を形成し、対話と合意ができる力」を高めるため、「全ての児童が学びに向かい、深い学びを実現する」「多様な児童を前提として、児童が学び方や学ぶペースを自分で考え取り組むことができる学びを実現する」「児童が抱える困難さや課題等個別の状況に応じた活動や支援を行う」といった「子供が主語になる学び」となる授業づくりに取り組んでいるところです。

さて、「子供が主語となる学び」を一層充実させ、子供たちの学力向上を図る取組として、来年度実施予定の40分授業に、ご不安を感じていらっしゃる方もおいでのことと思います。子供たちの学びを第一に考えるからこそ、もっともなご心配だと受け止めています。喜沢小学校では、学ぶ内容を減らしたり、知識の定着を軽視したりすることは考えておりません。知識は子供たちが考えるための大切な土台であり、これまでと同様に、基礎的・基本的な学力の一つとして大切に指導を行ってまいります。

一方で、学力は「授業時間の長さ」だけで決まるものでもありません。

毎年お正月に行われる箱根駅伝では、選手たちの長い練習の積み重ねが話題になります。「強くなるためには、長い時間練習することが大切だ」と言われることもあります。確かに、駅伝選手が強くなるためには、一定の練習量が欠かせません。しかし、箱根駅伝で活躍する選手たちは、ただ長時間走っているだけではありません。体調や目的に応じて練習内容を工夫し、走り方を考え、休養も含めて自分を高めています。大切なのは、練習時間の長さでなく、その時間をどう使ったかです。

これは、子供たちの学習にも通じることです。「勉強時間は長いほど学力があがる」と言われることがありますが、机に向かっている時間が長ければ、必ず学力が伸びるわけではありません。集中せずに問題をこなすだけの学習、答えを書き写すだけの学習では、力はずいぶんつきにくいのです。学力を伸ばすためには、「どれだけの時間を使ったか」よりも、「その時間をどう使ったか」ということが大切です。

喜沢小学校では、単元を通して、その一時間の授業の中で、自分で考え、間違いから学び、理解を深める学習を大切にしています。必要な学習時間を確保しつつ、なぜそうなるのかを考え、わかったことを言葉にするという思考を伴う学びを積み重ねる意味のある学びを通して、確かな学力が育つと考えています。

箱根駅伝の選手が、自分の走りを考えながら成長していくように、子供たちにも、覚えるべきことはしっかりと覚え、考える場面では自分の言葉で説明し、振り返りを通して理解を深めてほしいと願っています。子供たちが「確かな知識」を土台に「考える力」を身につけ、生涯にわたって学び続けられるよう、学校と家庭が連携し、量だけでなく質を大切にしたいと、学びを保護者の皆様と共に支え、成長を見守っていきたくと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。